

檜原市
子ども・子育て支援に関する
アンケート調査結果報告書
【概要版】

平成31年3月
檜原市

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
就学前児童及び就学児童調査結果	2
1 母親の就労状況と就労意向について	2
2 平日の定期的な幼稚園・保育園（所）・認定こども園等の施設・サービスについて	3
3 子育て支援サービスについて	5
4 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）について	11
5 子育てに関する意識・状況について	12
6 妊娠・出産時の意識・状況について	17
7 医療等との関わり・意識について	18
8 市に求める子育て支援策の充実について	20

調査の概要

1 調査の目的

本調査は、橿原市第2期子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、本市における子育て支援に関するご意見等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査設計

- 調査対象者：就学前児童：市内在住の就学前のお子さんから1,600人を無作為に抽出
就学児童：市内在住の小学生のお子さんから800人を無作為に抽出
- 調査期間：平成31年2月28日～3月15日
- 調査方法：郵送による配布及び回収

3 回収結果

調査票	調査対象者(配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,600	899	56.2%
小学生	800	460	57.5%
合計	2,400	1,359	56.6%

4 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

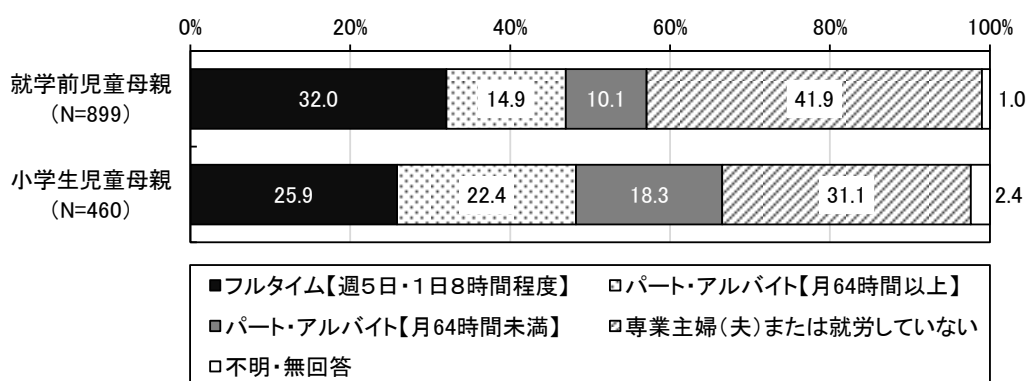
就学前児童及び就学児童調査結果

1 母親の就労状況と就労意向について

① 母親の就労状況

就労している母親（「フルタイム」＋「パート等」）は、就学前児童の母親で57.0%、小学生児童の母親で66.6%となっており、小学生児童の母親が9.6ポイント高くなっています。

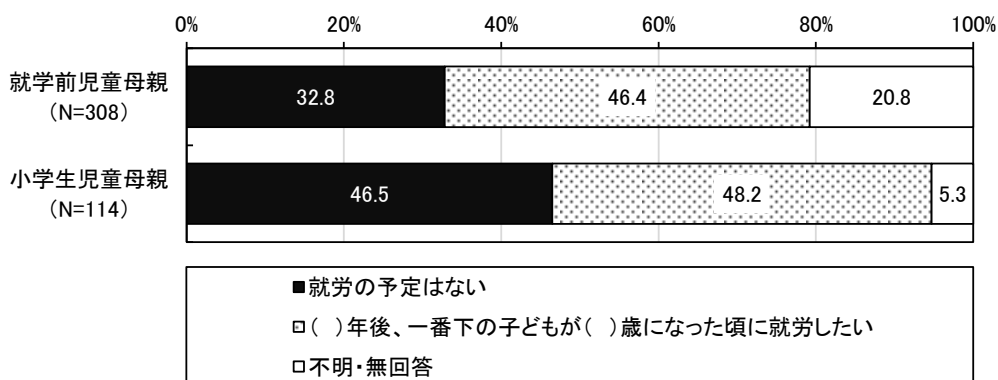
■ 母親の就労状況



② 母親の就労意向

専業主婦または就労していない母親のうち、「()年後、一番下の子どもが()歳になった頃に就労したい」とする母親は、就学前児童の母親で46.4%、小学生児童の母親で48.2%となっています。

■ 母親の就労意向

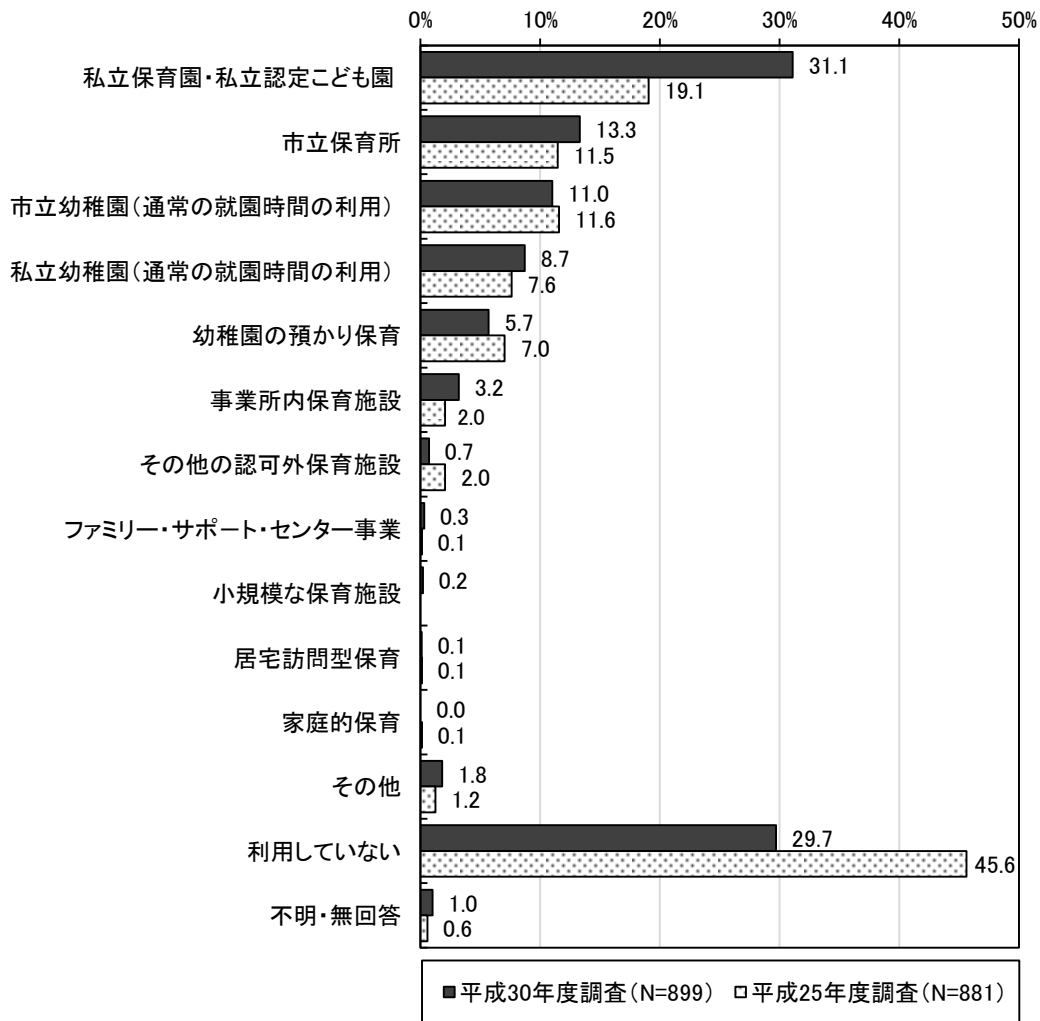


2 平日の定期的な幼稚園・保育園（所）・認定こども園等の施設・サービスについて

① 平日に定期的に利用している施設・サービス

定期的に利用している施設やサービスについて、「私立保育園・私立認定こども園」が31.1%と最も高く、次いで「利用していない」が29.7%、「市立保育所」が13.3%となっています。

■平日に定期的に利用している施設・サービス（就学前児童保護者）

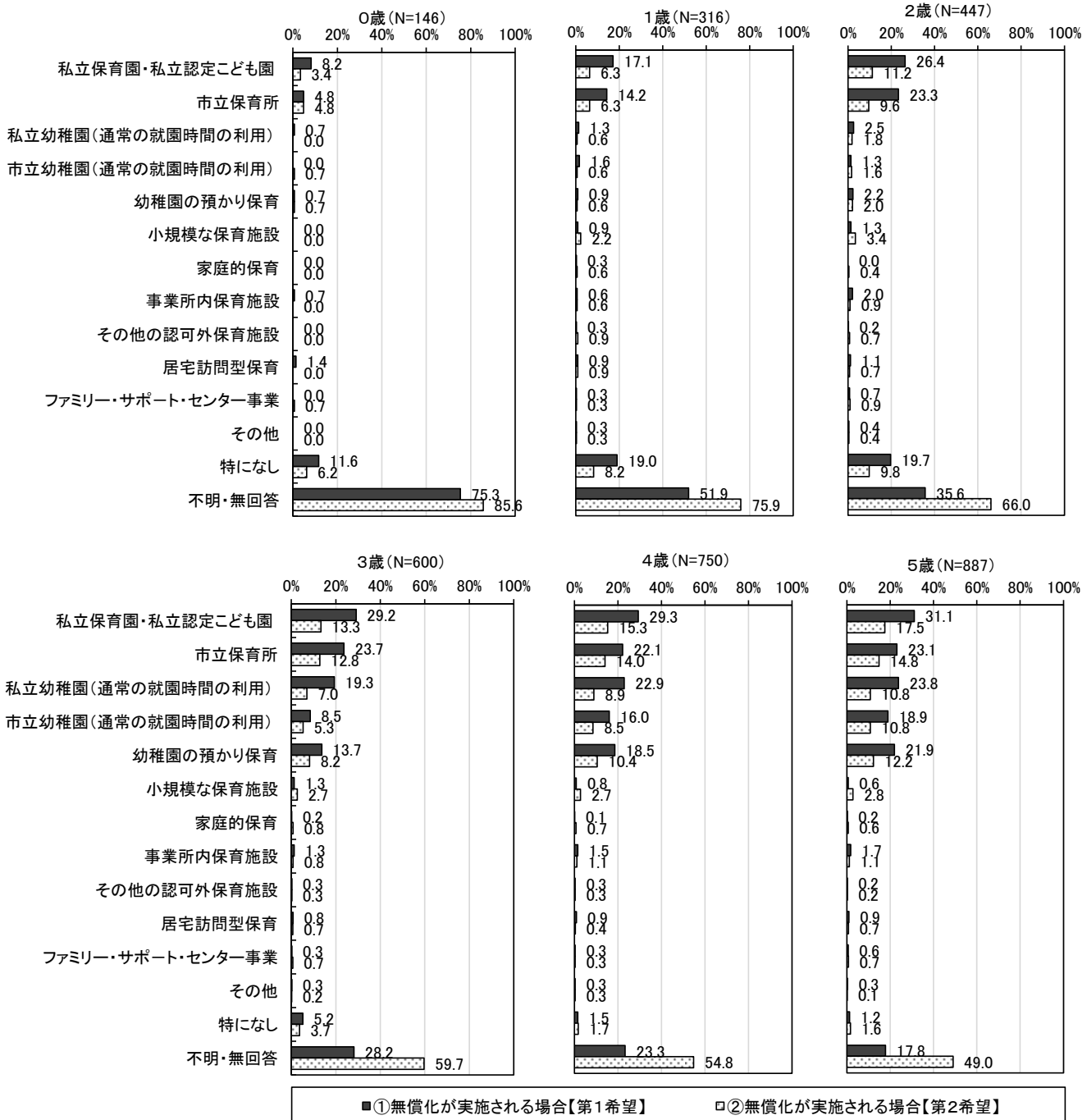


※「小規模な保育施設」は平成30年度調査のみの選択肢

② 平日の定期的な施設・サービスの利用意向

平日の定期的な施設・サービスの利用意向について、第1希望、第2希望ともに、「特になし」を除くと0～2歳では「私立保育園・私立認定こども園」「市立保育所」、3歳以上では「私立保育園・私立認定こども園」「市立保育所」「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」「市立幼稚園（通常の就園時間の利用）」「幼稚園の預かり保育」が高くなっています。

■平日の定期的な施設・サービスの利用意向（無償化が実施される場合の第1・2希望）



3 子育て支援サービスについて

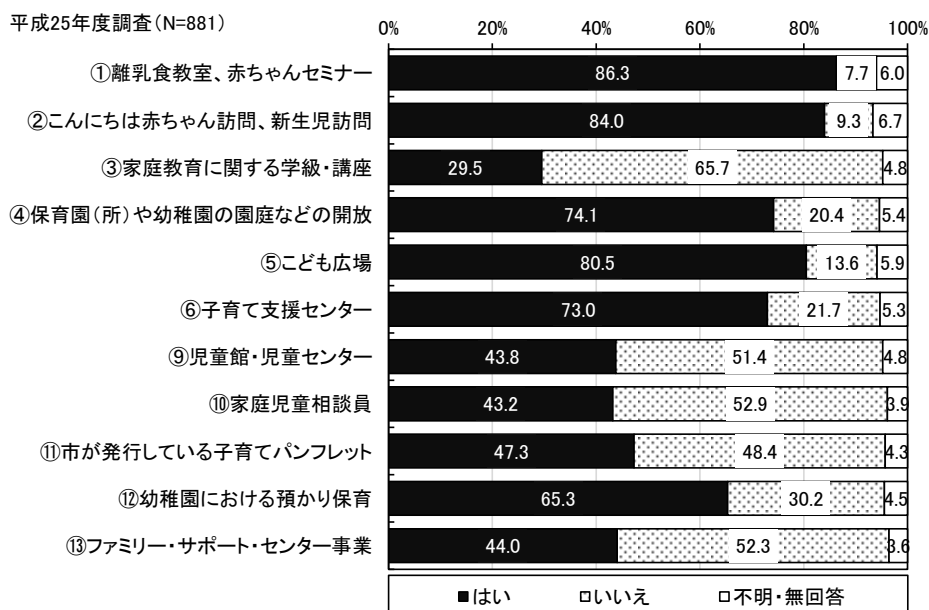
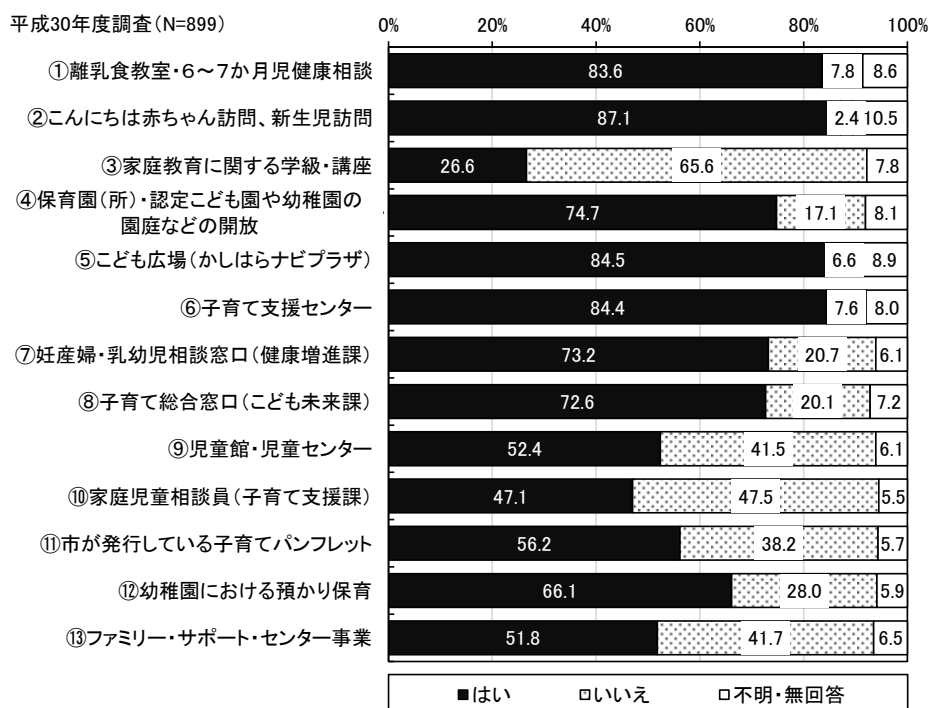
① 就学前児童・保護者を対象とした子育て支援サービスについて

1) 子育て支援サービスの認知度

子育て支援サービスの認知度について、「②こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問」が87.1%と最も高く、次いで「⑤こども広場（かしはらナビプラザ）」が84.5%、「⑥子育て支援センター」が84.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「⑥子育て支援センター」が11.4ポイント、「⑪市が発行している子育てパンフレット」が8.9ポイント高くなっています。

■子育て支援サービスの認知度（就学前児童保護者）

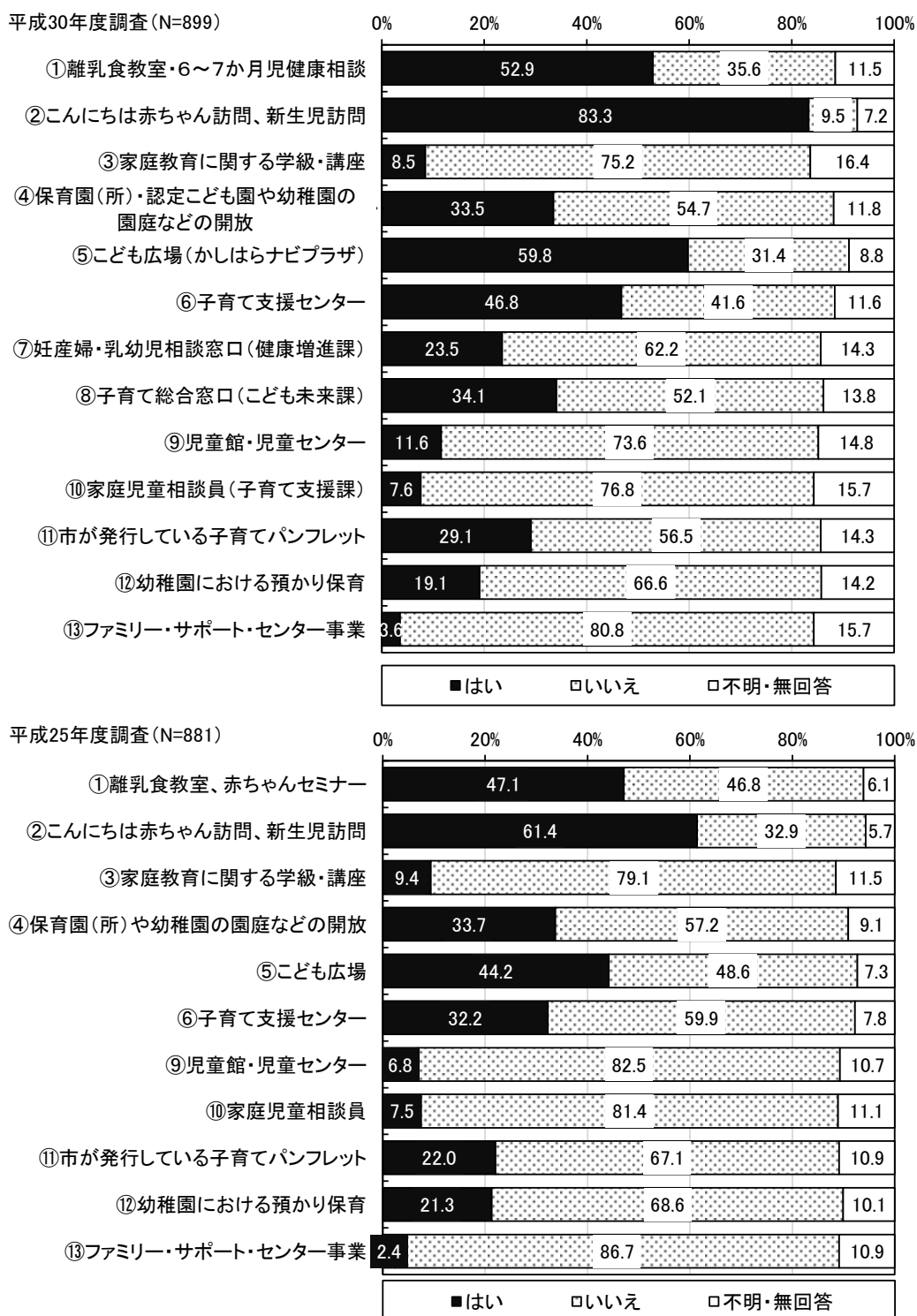


2) 子育て支援サービスの利用度

子育て支援サービスの利用度について、「②こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問」が83.3%と最も高く、次いで「⑤こども広場（かしはらナビプラザ）」が59.8%、「①離乳食教室・6～7か月児健康相談」が52.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「②こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問」が21.9ポイント、「⑤こども広場（かしはらナビプラザ）」が15.6ポイント高くなっています。

■子育て支援サービスの利用度（就学前児童保護者）

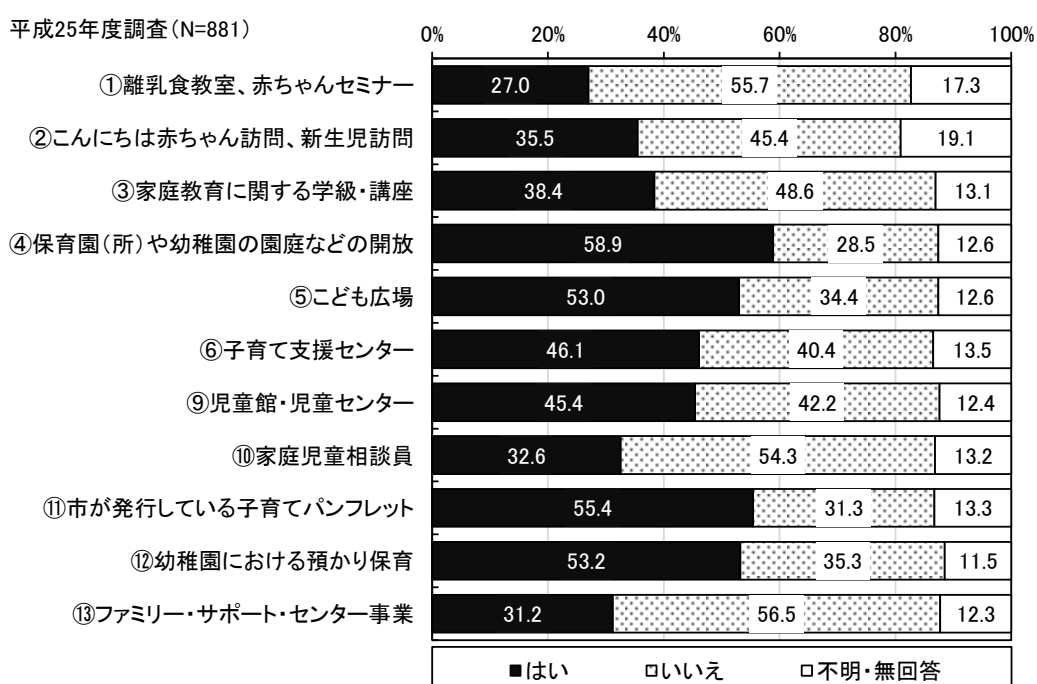
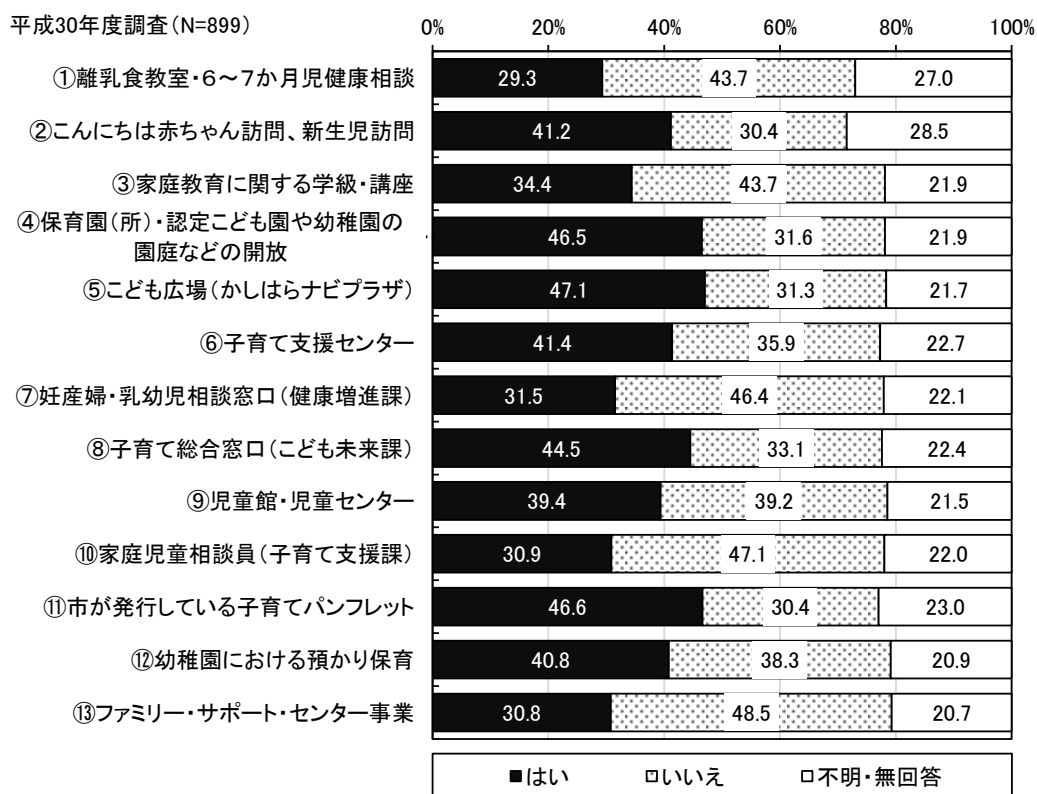


3) 子育て支援サービスの利用意向

子育て支援サービスの今後の利用意向について、「⑤こども広場(かしはらナビプラザ)」が47.1%と最も高く、次いで「⑪市が発行している子育てパンフレット」が46.6%、「④保育園(所)・認定こども園や幼稚園の園庭などの開放」が46.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「②こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問」が5.7ポイント高くなっています。

■子育て支援サービスの利用意向（就学前児童保護者）



② 小学生児童・保護者を対象とした子育て支援サービスについて

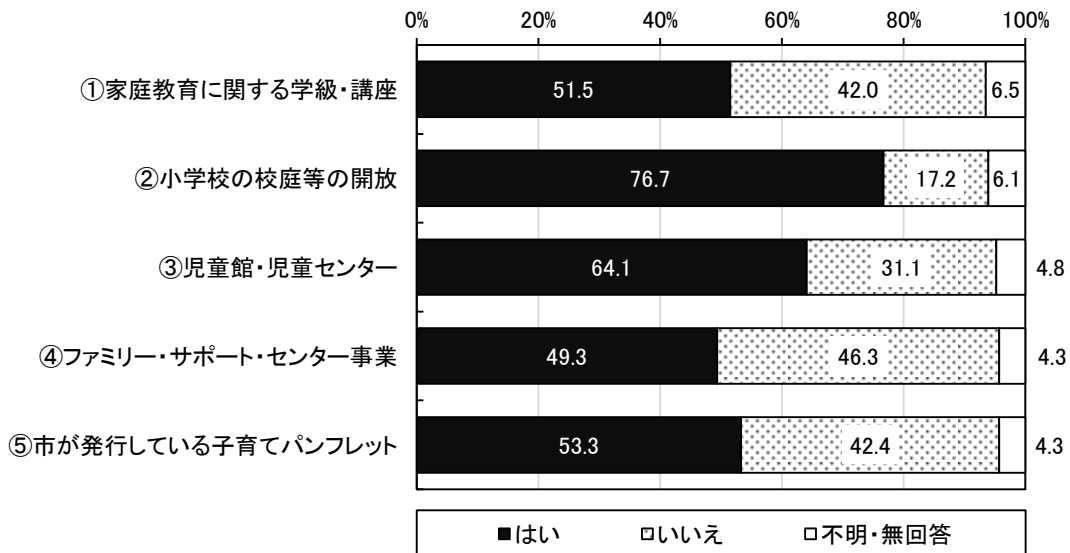
1) 子育て支援サービスの認知度

子育て支援サービスの認知度について、「②小学校の校庭等の開放」が76.7%と最も高く、次いで「③児童館・児童センター」が64.1%となっています。

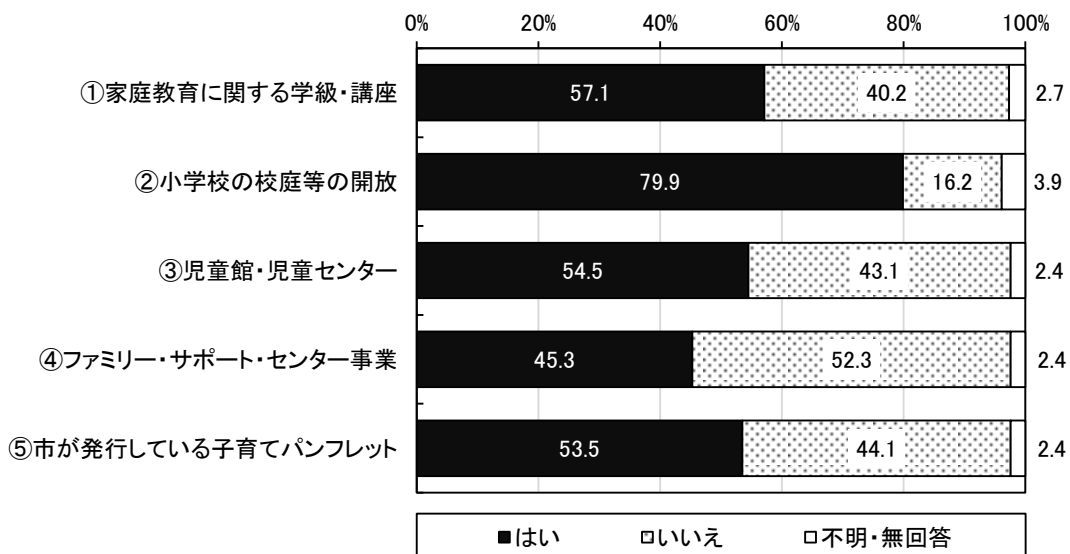
平成25年度調査と比較すると、「③児童館・児童センター」が9.6ポイント高くなっています。

■子育て支援サービスの認知度（小学生児童保護者）

平成30年度調査(N=460)



平成25年度調査(N=413)



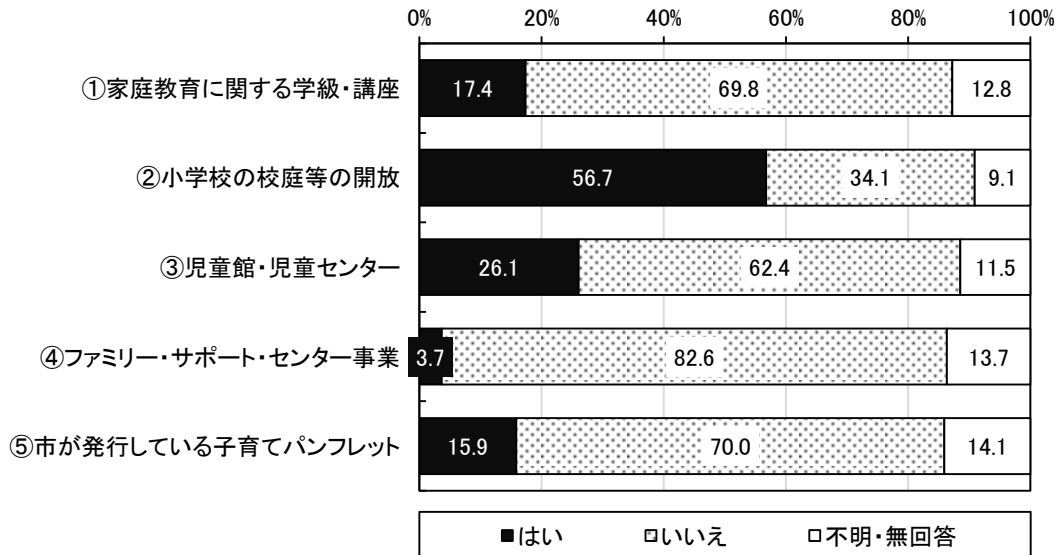
2) 子育て支援サービスの利用度

子育て支援サービスの利用度について、「②小学校の校庭等の開放」が56.7%と最も高く、次いで「③児童館・児童センター」が26.1%となっています。

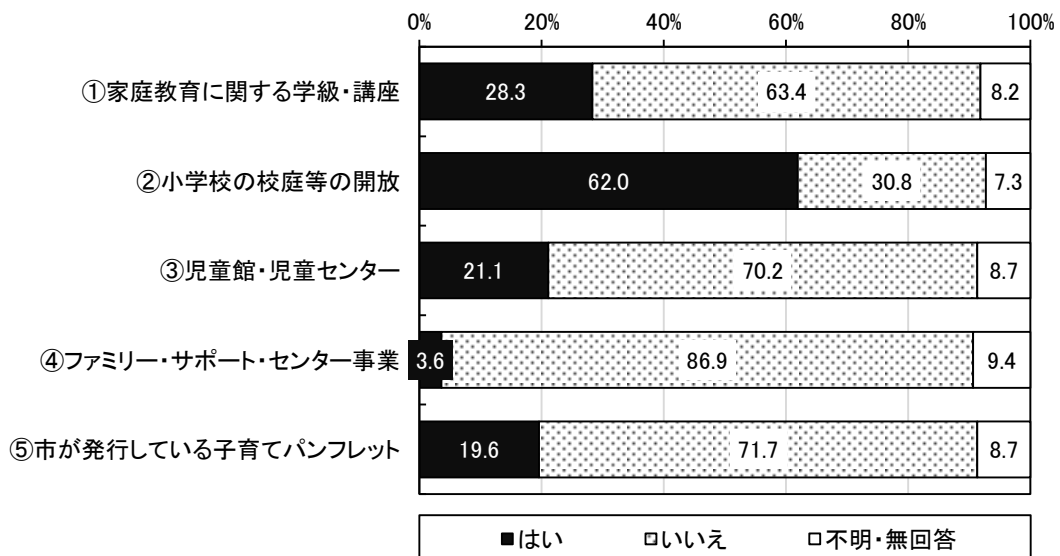
平成25年度調査と比較すると、「①家庭教育に関する学級・講座」が10.9ポイント低くなっています。

■子育て支援サービスの利用度（小学生児童保護者）

平成30年度調査 (N=460)



平成25年度調査 (N=413)

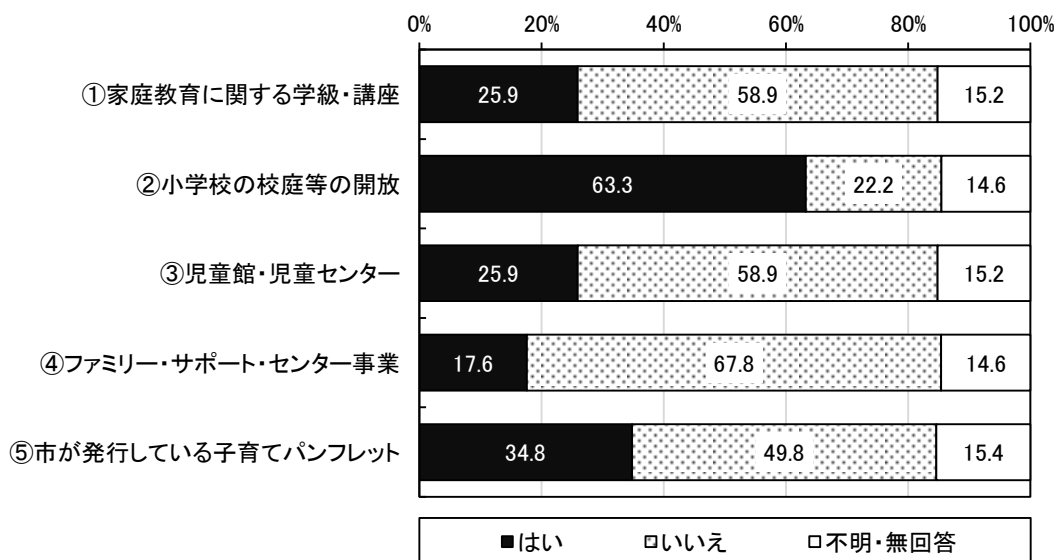


3) 子育て支援サービスの利用意向

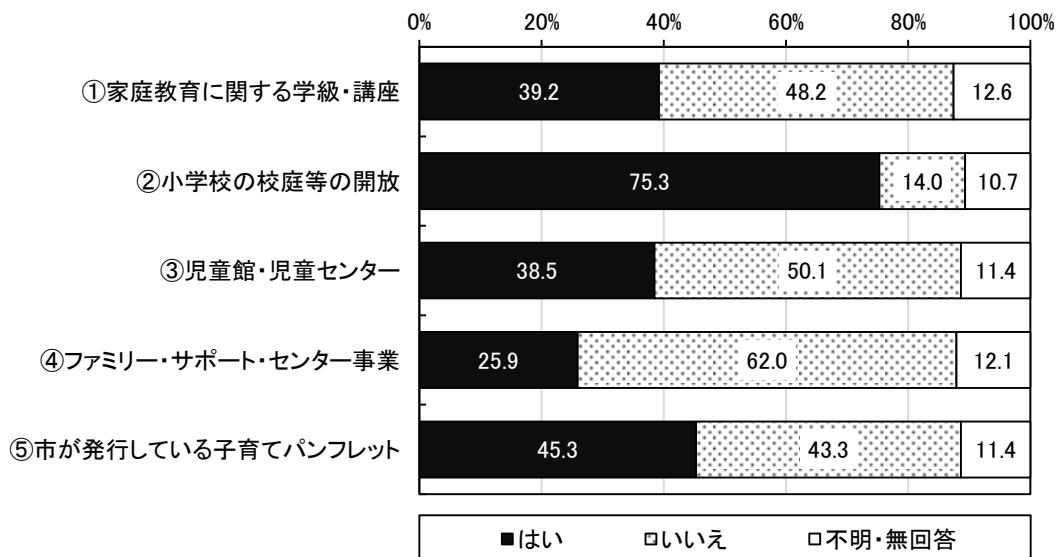
子育て支援サービスの今後の利用意向について、「②小学校の校庭等の開放」が63.3%と最も高く、次いで「⑤市が発行している子育てパンフレット」が34.8%となっています。

■ 子育て支援サービスの利用意向（小学生児童保護者）

平成30年度調査(N=460)



平成25年度調査(N=413)



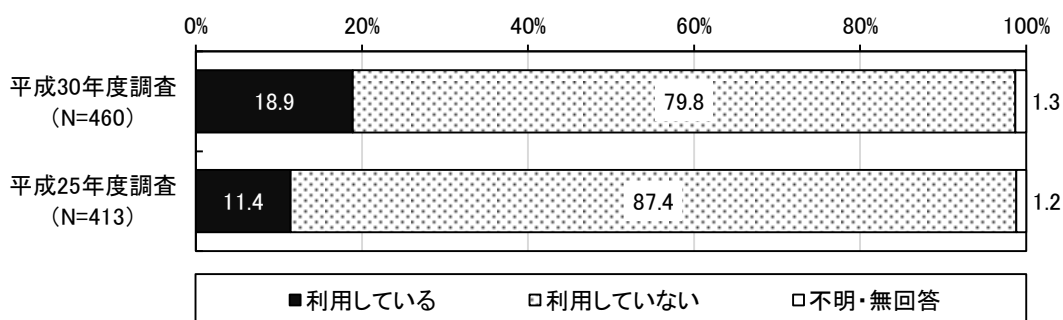
4 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）について

① 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の利用状況

現在、放課後児童クラブを利用しているかについて、「利用している」が18.9%、「利用していない」が79.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用している」が7.5ポイント高くなっています。

■放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の利用状況（小学生児童保護者）

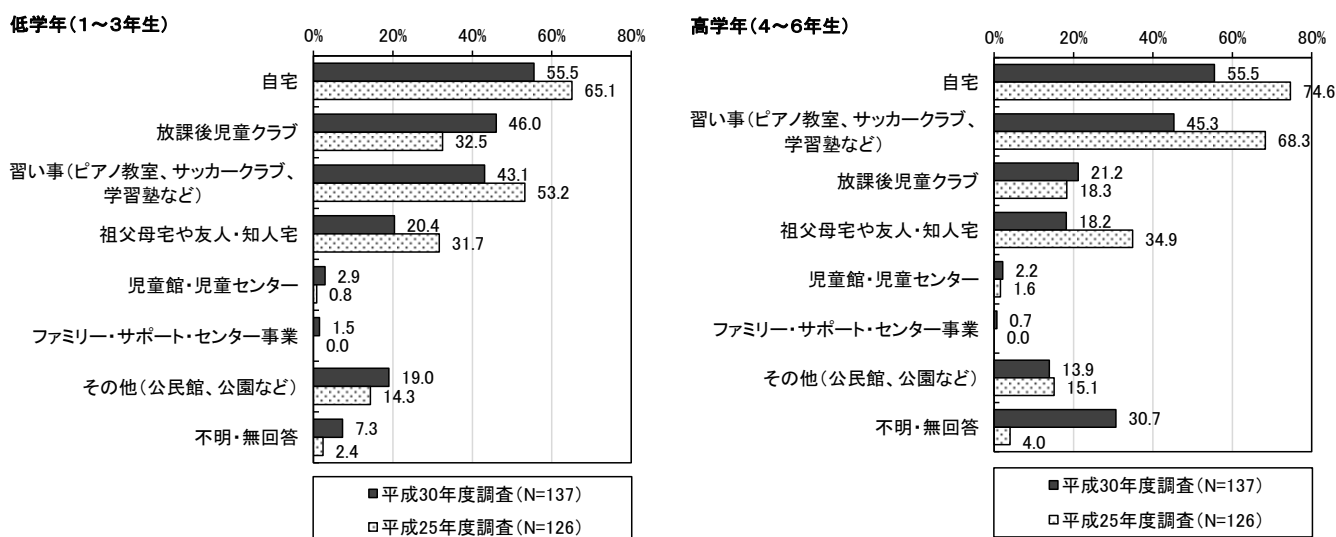


② 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の利用意向

1) 次年度に小学校に入学する子どもの保護者の利用意向

放課後を過ごさせたい場所について、低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）ともに「自宅」が最も高く、いずれも55.5%となっています。次いで、低学年では「放課後児童クラブ」が46.0%、高学年では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が45.3%と続いています。

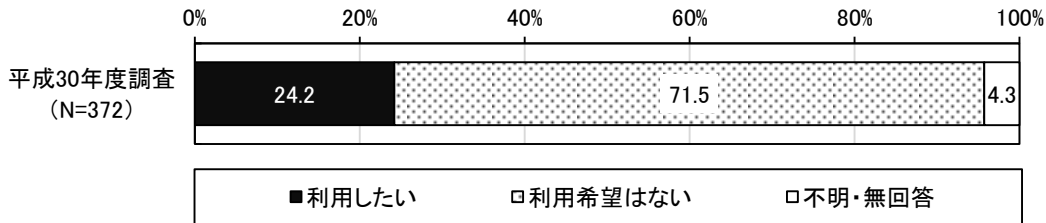
■希望する放課後の過ごし方（次年度に小学校に入学する子どもの保護者）



2) 小学生児童保護者の利用意向

次年度に小学校2～6年生になる保護者について、来年度以降に放課後児童クラブを利用したいかについて、「利用したい」が24.2%、「利用希望はない」が71.5%となっています。

■平日の放課後健全育成事業の利用意向（次年度に小学校2～6年生になる小学生児童保護者）

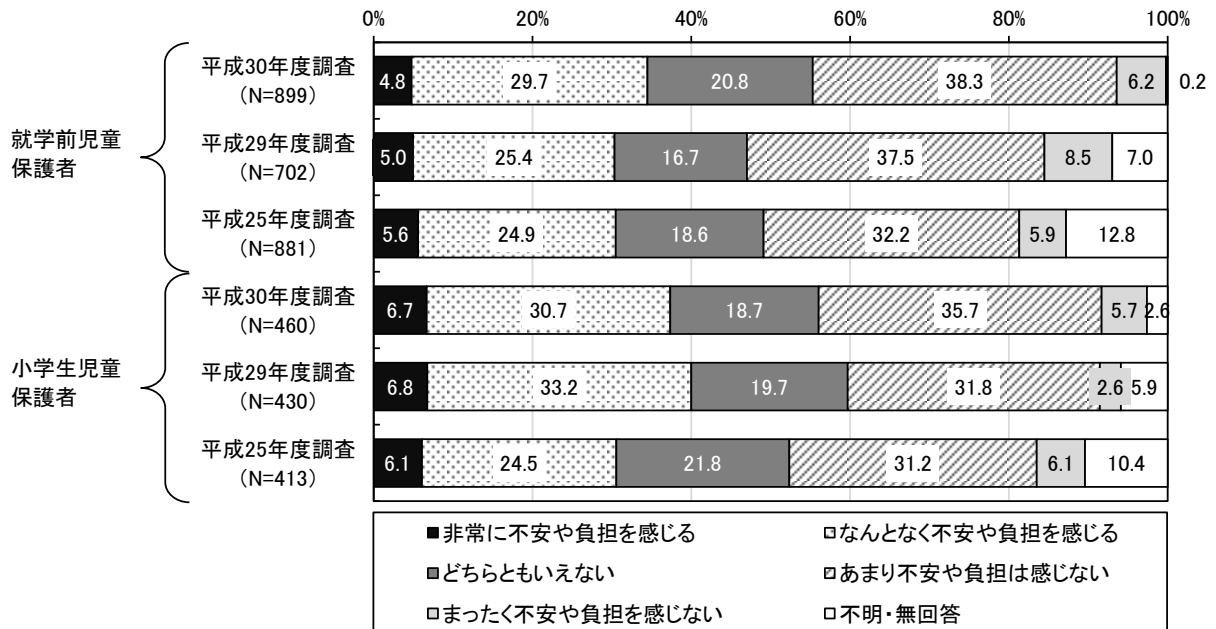


5 子育てに関する意識・状況について

① 子育てに関する不安や負担感

子育てに関する不安や負担感についてみると、就学前児童及び小学生児童の保護者ともに「あまり不安や負担を感じない」が3割半ばから4割弱で最も高くなっています。その一方で、「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」を合わせると、こちらも3割半ばから4割弱の保護者が子育てに不安や負担感を持っていることがうかがえます。

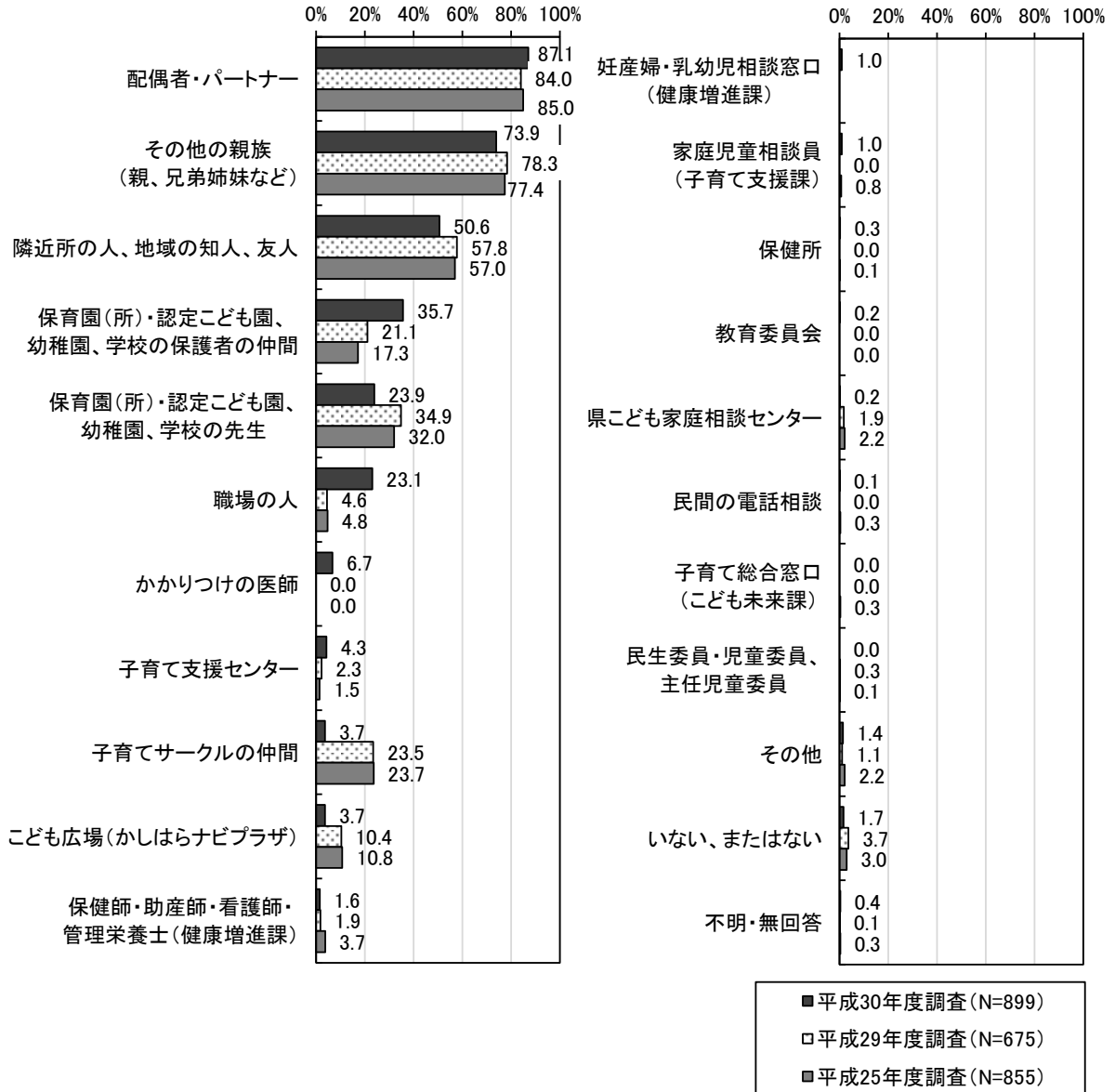
■子育てに関する不安や負担感があるか



② 子育て・教育に関する相談相手の状況

就学前児童保護者の、子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人や場所などについてみると、「配偶者・パートナー」が 87.1%と最も高く、次いで「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」が 73.9%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が 50.6%となっています。

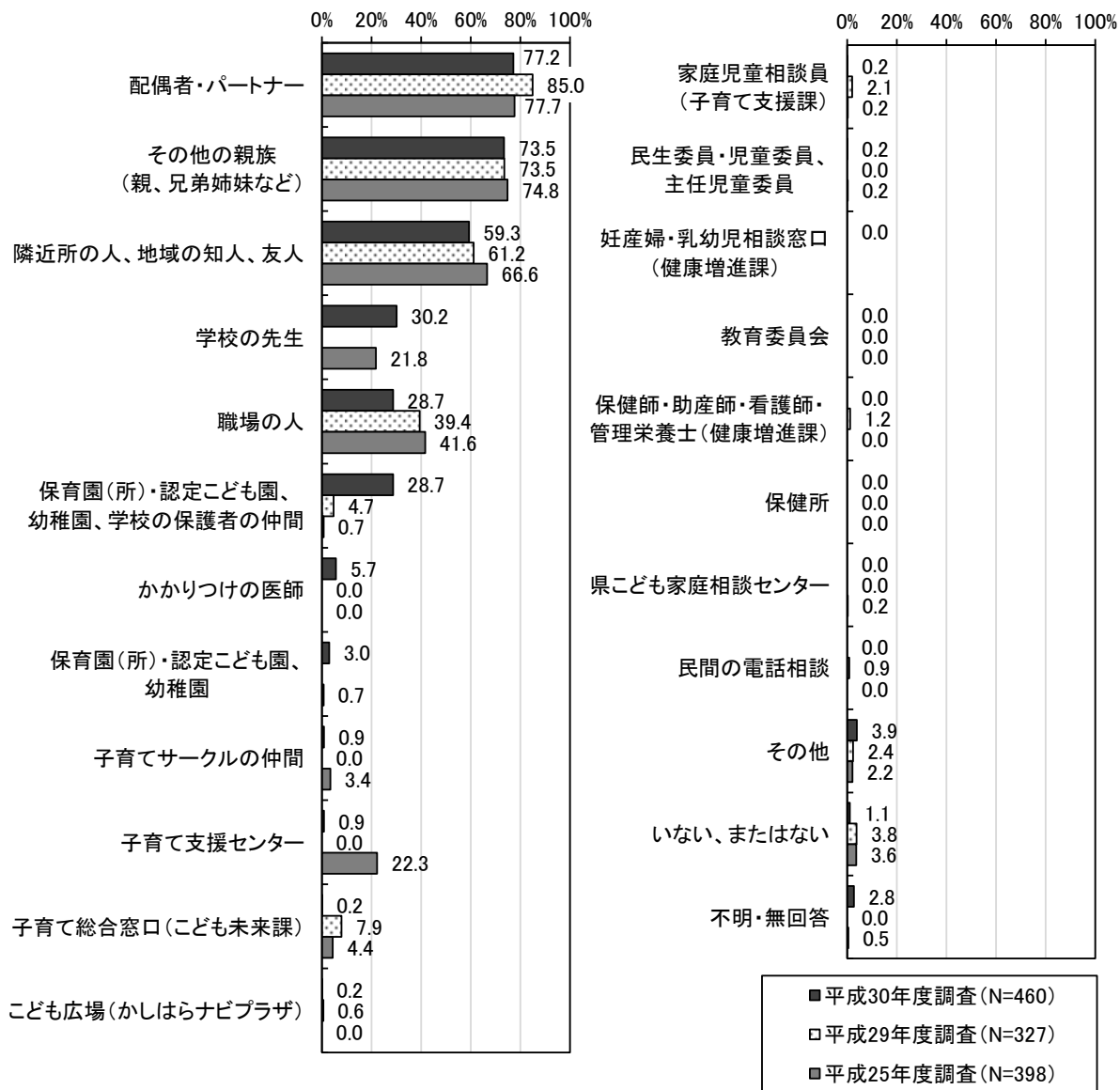
■子育て・教育に関する相談相手・相談場所について（就学前児童保護者）



※「妊産婦・乳幼児相談窓口（健康増進課）」は平成30年度調査のみの選択肢

小学生児童保護者の、子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人や場所などについてみると、「配偶者・パートナー」が 77.2%と最も高く、次いで「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」が 73.5%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が 59.3%となっています。

■子育て・教育に関する相談相手・相談場所について（小学生児童保護者）

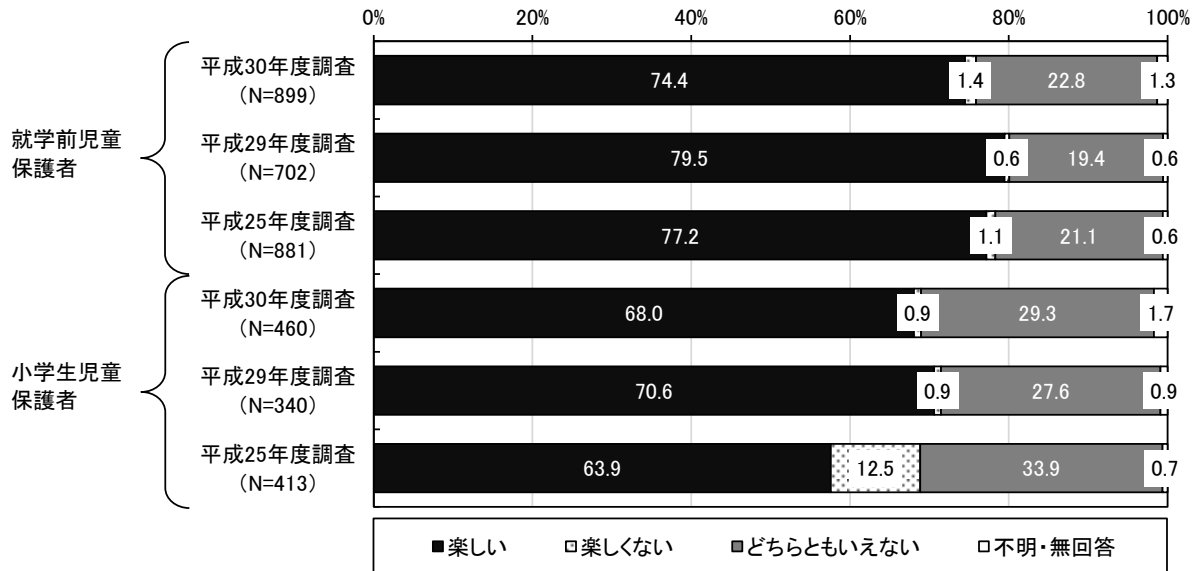


※「妊産婦・乳幼児相談窓口（健康増進課）」は平成 30 年度調査のみの選択肢

③ 子育てを楽しんでいるか

子育てを「楽しい」と感じる保護者は、約7割から7割半ばとなっています。就学前児童保護者の割合の方が、高い傾向にあります。

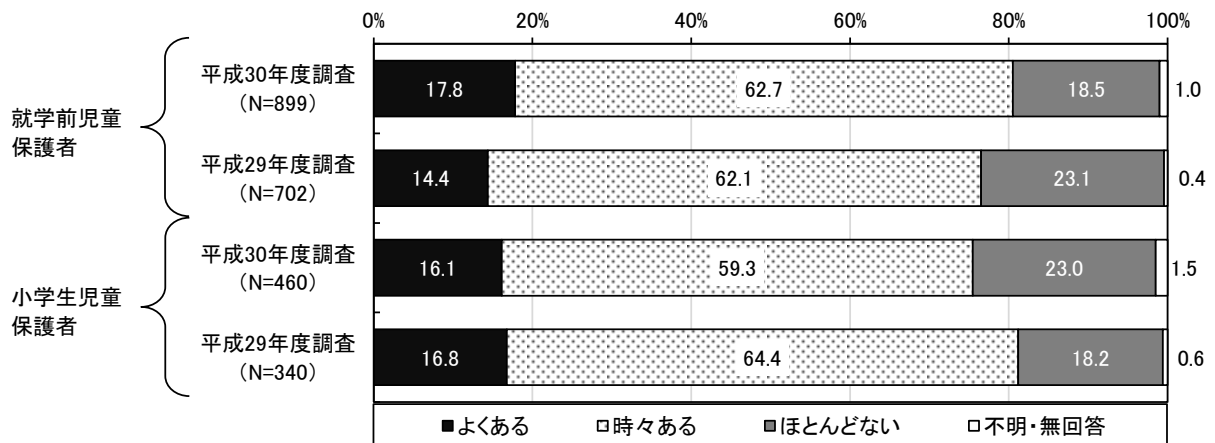
■子育てを楽しんでいるか



④ 子育てに自信が持てないことがあるか

子育てに自信が持てないことがあるかについてみると、「よくある」では就学前児童の保護者で17.8%、小学生児童保護者で16.1%となっています。「時々ある」と合わせると、7割半ばから8割の保護者が、子育てに自信が持てないことがあるということがうかがえます。

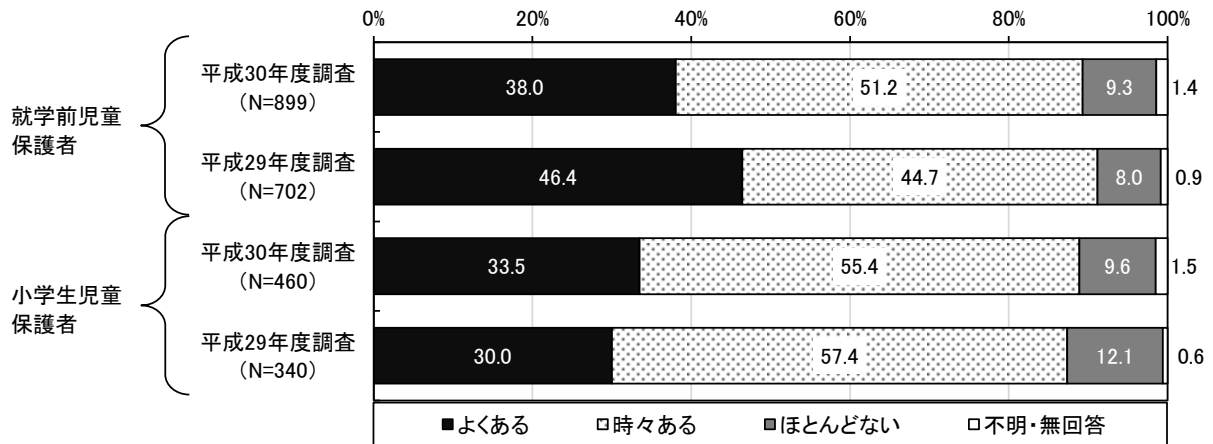
■子育てに自信が持てないことがあるか



⑤ ゆっくりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無

ゆっくりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無についてみると、「よくある」が就学前児童保護者で38.0%、小学生児童保護者で33.5%となっています。その一方で、「ほとんどない」保護者も約1割いることがうかがえます。

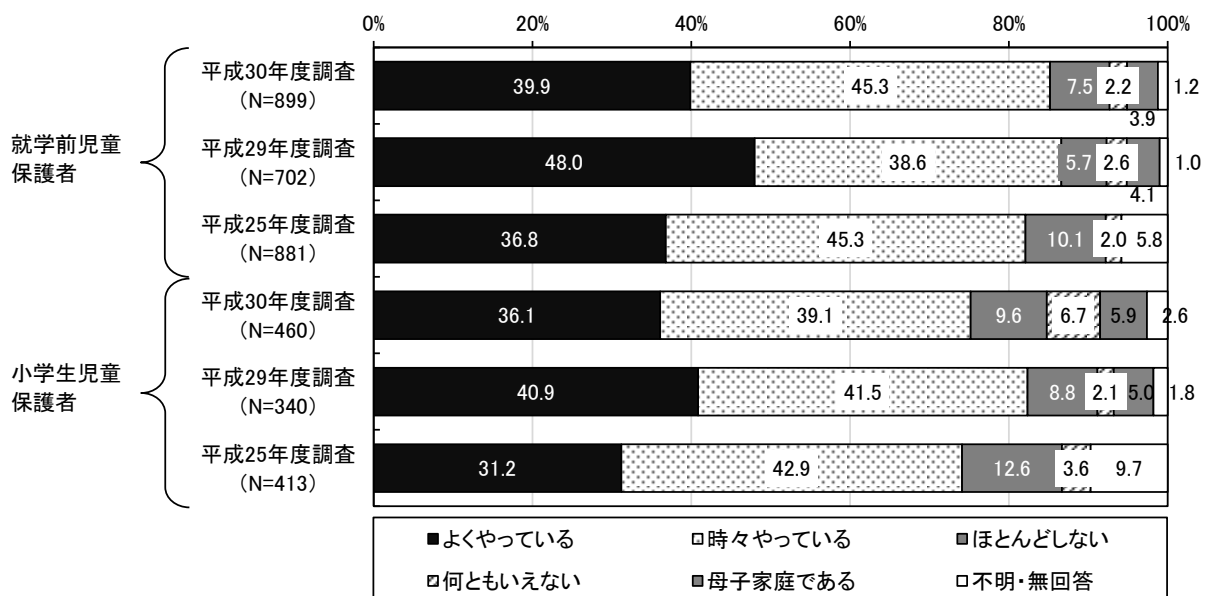
■ ゆっくりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無



⑥ 父親の育児への参加状況

父親の育児への参加状況について、「よくやっている」と「時々やっている」の合計が、就学前児童保護者では85.2%、小学生児童保護者では75.2%となっており、就学前児童保護者の方が10.0ポイント高くなっています。

■ 父親の育児への参加状況



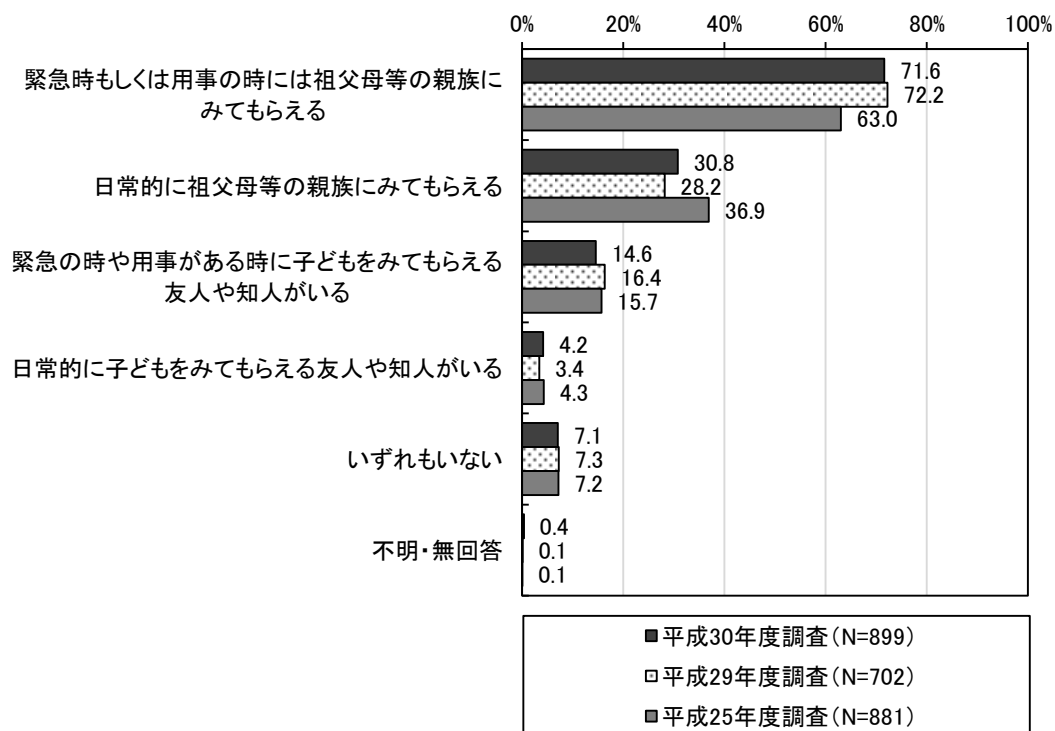
※「母子家庭である」は平成30年度、平成29年度調査のみの選択肢

⑦ 日頃、子どもの面倒をみてくれる親族や友人について

日頃、子どもの面倒をみてもらえる親族や知人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が71.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が30.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が8.6ポイント高くなっている一方、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が6.1ポイント低くなっています。

■日頃、子どもの面倒をみてくれる親族や友人について（就学前児童保護者）

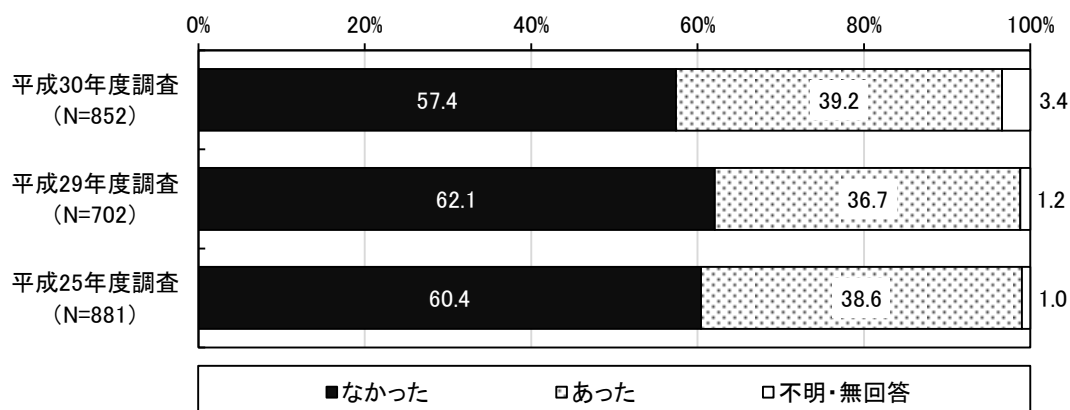


6 妊娠・出産時の意識・状況について

① 妊娠への不安の有無

妊娠することへの不安について、「なかった」が57.4%、「あった」が39.2%となっています。

■妊娠への不安の有無（就学前児童保護者）

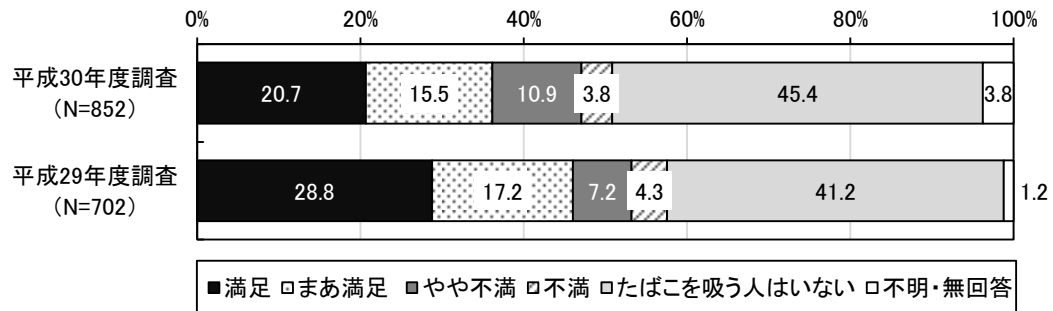


② 妊娠中の受動喫煙への配慮

家庭での受動喫煙に対する配慮について、『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計）が36.2%、『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）が14.7%となっています。

平成29年度調査と比較すると、『満足』が9.8ポイント低くなっています。

■ 妊娠中の受動喫煙への配慮について（就学前児童保護者）

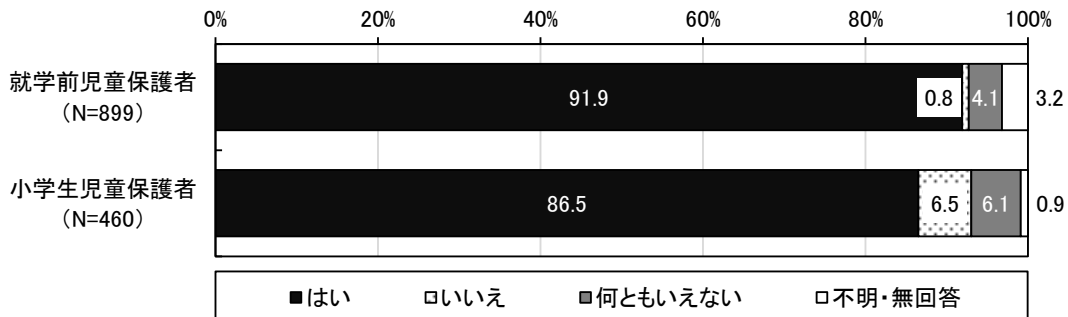


7 医療等との関わり・意識について

① かかりつけ医（小児科医）の有無

かかりつけ医（小児科医）がいる保護者は、就学前児童の保護者で91.9%、小学生児童保護者で86.5%となっています。

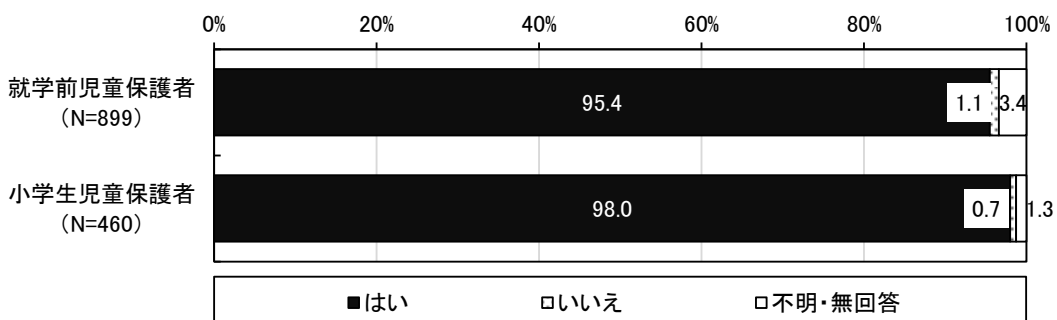
■ かかりつけ医（小児科医）の有無



② 休日夜間応急診療所の認知状況

休日夜間応急診療所を知っている保護者は、就学前児童の保護者で95.4%、小学生児童保護者で98.0%となっています。

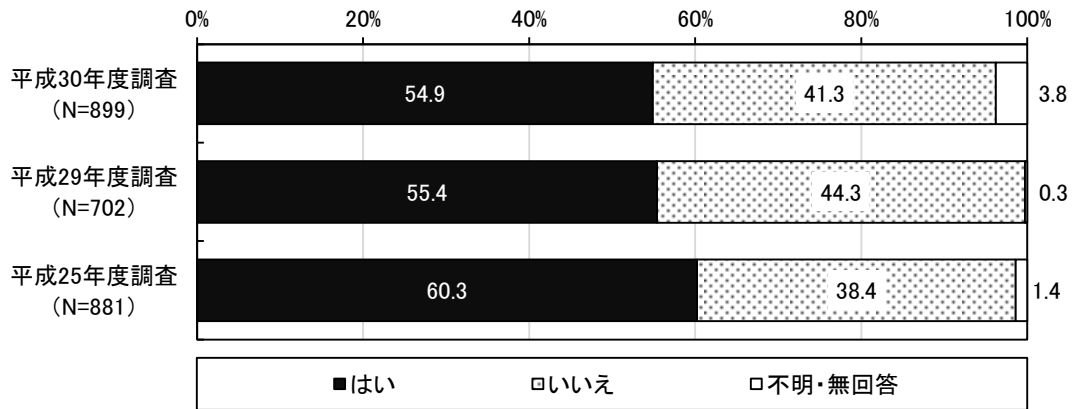
■ 休日夜間応急診療所の認知状況



③ 事故防止の工夫の有無

事故防止の工夫の有無についてみると、「はい」が54.9%、「いいえ」が41.3%となっています。

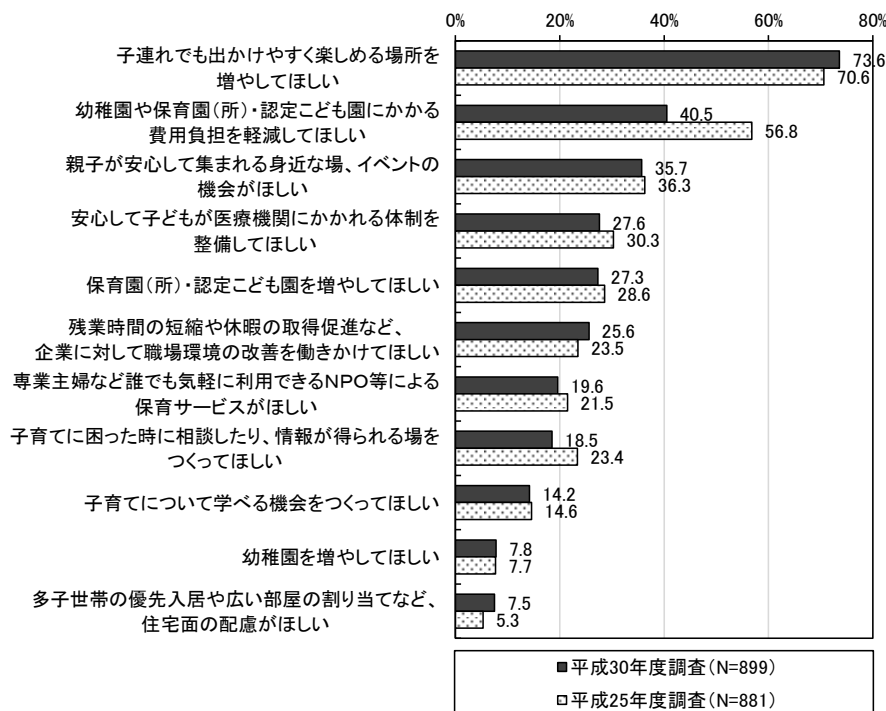
■事故防止の工夫の有無（就学前児童保護者）



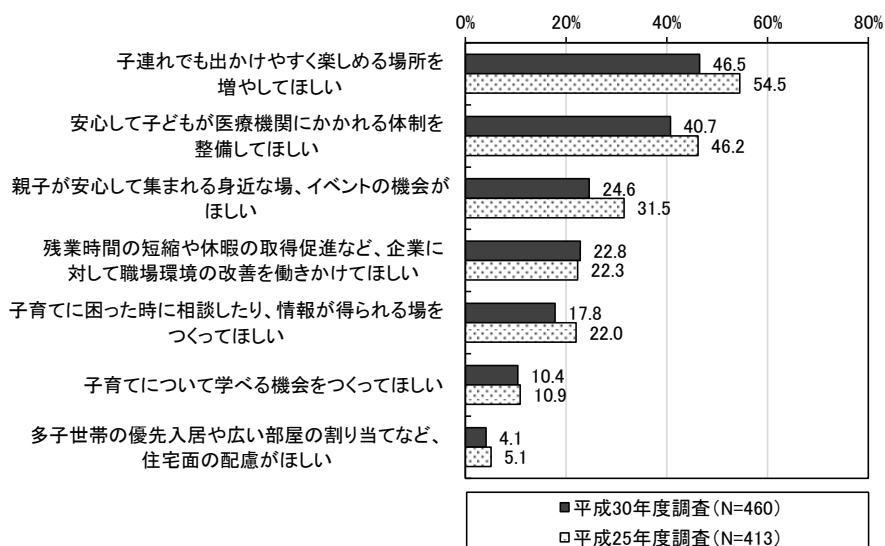
8 市に求める子育て支援策の充実について

市に求める子育て支援策の充実についてみると、就学前児童及び小学生児童の保護者ともに「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が最も高くなっています。次いで、就学前児童保護者では、「幼稚園や保育園（所）・認定こども園にかかる費用負担を軽減してほしい」、小学生児童保護者では、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」となっています。

■市の子育て支援策に求めること※（就学前児童保護者）



■市の子育て支援策に求めること※（小学生児童保護者）



※紙面の都合上、「その他」「不明・無回答」を除いて記載しています。

橿原市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果報告書【概要版】

発行・編集：橿原市役所 健康部 こども未来課

住所：〒634-8509 奈良県橿原市内膳町1丁目1番 60号 橿原市役所 分庁舎2階

TEL:0744-25-2790 FAX:0744-25-2221

